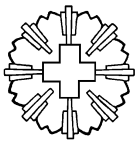


# 米沢市立病院 地域医療連携室だより



編集 米沢市立病院事務局地域医療連携室  
〒992-8502 米沢市相生町6番36号  
TEL(0238)22-2450(代表) (0238)22-2613(直通)  
FAX(0238)22-2624  
URL <http://www.yonezawa-city-hospital.jp/>

2023  
令和5年4月  
Vol. **43**



昭和40年当時の米沢市立病院

特集

年度当初のご挨拶(病院事業管理者)

// (病院長)

新任医師の紹介

地域医療連携室の紹介

Topics

春号

## 年度当初のご挨拶（病院事業管理者）

去年(こそ)の春 いこじて植ゑし我がやどの 若木の梅は花咲きにけり

（去年の春、こじ起こして来て、移し植えた自分の屋敷内の梅の若木は、もう花が咲いたことだ）。これは千三百年ほど前の平安時代初期の万葉集の「春の雑歌」の 1 首ですが、21 世紀に生きる私たちに時を超えた親近感をもたらします。時代が少し遡った天平の聖武天皇の時代に、当時の日本の人口約 500 万人中約 100 万人が亡くなったといわれる天然痘の大流行が起きました。飢饉も起こり、この禍を祓うために奈良の大仏が建立されたと奈良市開催の第 59 回全国自治体病院学会で学びました。令和の時代においても、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るいましたが、やっとその流行も収束しつつあり、ホットしているところです。

さて、いよいよ令和五年度のスタートです。本年 11 月 1 日開院予定の新・米沢市立病院と新・三友堂病院の建設工事も順調に進んでいます。

現在、両病院や米沢市医師会との間で、下記に箇条書きで示したようなテーマで協議が行われています。米沢市内ならびに近隣の医療・介護・福祉関係の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

米沢市立病院と三友堂病院の両・新病院開院へ向けての協議項目

- ① 新病院への引越し前後の休診のあり方、その場合の救急体制の確保
- ② これまで米沢市立病院と三友堂病院で外来診療を行ってきた患者（透析患者を含む）の外来診療の適切な再配分（米沢市内ならびに近隣医療機関への紹介・逆紹介、両・新病院開院後の両病院間の患者紹介・逆紹介、ならびに近隣医療機関への紹介・逆紹介）
- ③ 本年 12 月より新・米沢市立病院へ機能移転する米沢市医師会委託事業「平日夜間・休日診療所の診療」のあり方、ならびに市民への周知
- ④ 米沢市ならびに近隣地域の 2 次・3 次救急（特に急性期循環器疾患）について、公立置賜総合病院や山形大学医学部など山形市内の 3 次救急医療機関との連携協議
- ⑤ 置賜構想区域の地域医療構想実現のため「地域医療連携推進法人（仮称：よねざわヘルスケアネット）」の本年 11 月設立に向けての準備
- ⑥ 両・新病院で必要な各職種の人材確保や関連医科大学等との連携強化の推進



米沢市病院事業管理者  
渡邊 孝男

## 年度当初のご挨拶（病院長）

桜端の候、米沢市内の医療機関の皆様、南陽市・東置賜郡の医療機関の皆様、長井市・西置賜郡の医療機関の皆様、南東北地域の医療機関の皆様におかれましては、まずま御清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、米沢市立病院長を拝命しました長岡明と申します。泌尿器科、人工透析を担当しております。皆様よろしくお願ひ申し上げます。

さて、本年11月には公的病院の米沢市立病院（263床）と米沢市内の民間病院の三友堂病院（199床）とが併設し、機能分化の上で新病院を開設する予定です。新病院では米沢市立病院は急性期の患者さんへの医療を担い、三友堂病院は回復期、緩和ケア医療を担うこととなります。加えて米沢市立病院は24時間365日の救急患者の受け入れに対応することとなります。

医師の確保は地方の医療機関共通の問題であり、当院におきましても医師不足は深刻な状況にあります。山形大学医学部、福島県立医大、東北大学医学部を始めとする大学に医師派遣をお願いするとともに、三友堂病院は勿論のこと、置賜総合病院、山形大学医学部附属病院、舟山病院、国立病院機構米沢病院、高畠病院等々の県内医療機関と連携しながら米沢医療圏の医療体制の維持に努めるべく、置賜保健所長の山田先生のお力もお借りしながら、新たな医療連携体制の構築を開始し、新病院開設に間に合う様に準備を進めているところです。

看護師を始めとする医療スタッフも確保が難しい状況ですが、三友堂看護専門学校を始めとし、近隣の専門学校、医療系大学にも働きかけ、ともに働く人材の確保に努めております。

来年4月からは医師の働き方改革の施行が予定され、地域医療を取り巻く環境は一層厳しいものとなることが予想されます。院長として米沢市立病院が地域の医療に担う役割を果たすべく、これらの課題に取り組む所存です。御指導、御支援の程宜しくお願ひ申し上げます。

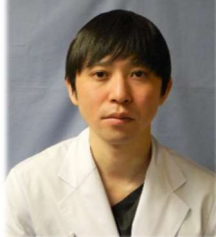


病院長  
兼診療部泌尿器科長  
兼診療部人工透析室長  
**長岡 明**

## 新任医師の紹介(順不同)

①菅原 良太(すがわら りょうた)

- ②外科
- ③和歌山県和歌山市
- ④福島県立医科大学
- ⑤ポーカー、TVゲーム
- ⑥地域の皆様の健康を守るために精一杯がんばります。よろしくお願い致します。



①佐々木 淳也(ささき じゅんや)

- ②整形外科、リハビリテーション科
- ③山形県川西町
- ④山形大学
- ⑤スポーツ観戦
- ⑥新しくなる病院の POWER になれるよう頑張ります。



①日塔 啓介(にっとう けいすけ)

- ②歯科口腔外科
- ③山形県山形市
- ④日本大学
- ⑤ドライブ
- ⑥4月より口腔外科で勤務させていただくこととなりました。まだまだ未熟ではございますが、患者様の痛みを理解し寄り添った医療を提供できるよう精進して参ります。宜しくお願いいたします。



①成澤 健(なりさわ けん)

- ②耳鼻咽喉科
- ③山形県鶴岡市
- ④秋田大学
- ⑤読書、音楽鑑賞
- ⑥山形大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科に所属しております成澤健と申します。出身は山形県鶴岡市ですが秋田大学を卒業した後山形大学に参りました。何卒宜しくお願い致します。



①鈴木 啓王(すずき たかみ)

- ②産婦人科
- ③山形県山形市
- ④山形大学
- ⑤魚釣り
- ⑥地域の医療に貢献できるように頑張ります。よろしくお願い致します。



- ①氏名(ふりがな) ②診療科 ③出身地
- ④出身大学 ⑤趣味・特技 ⑥ご挨拶

よろしくお願ひします。

## 退職・転出医師

大串 雅俊(診療部)、阿部 義幸(整形外科)、渡邊 達也(循環器科)、佐藤 克己(整形外科)、藤井あゆみ(外科)、今村 佑太(整形外科)、瀧田 徳男(産婦人科)、天野真太郎(耳鼻咽喉科)、佐藤 憲夫(眼科)

## 令和5年度の地域医療連携室

昨年秋、地域医療連携室は北外来棟へ引越しを行いました。その際、医療相談室と患者支援センターとも同居する形となり、入退院の支援部門が1か所で業務を行っています。

この形態は新病院開院後も継承され、ワンストップで支援を行えるよう模索しているところですので、引き続きご指導を賜りますようお願いいたします。

なお、令和5年4月1日より、樋口進一室長補佐(事務職)が新たに配属され、医師1名、事務職5名体制になりました。どうぞよろしくお願い致します。

